

かごしま

みどりの基金だより



もり
「九州森林の日」植樹祭
(令和4年11月19日 霧島山国有林)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

公益財団法人 かごしまみどりの基金



は じ め に

先人たちのたゆまぬ努力により育まれてきた本県の豊かな森林は、日常生活の中に美しい景観や心身の安らぎを与えてくれるとともに、清らかな水を生み出し、洪水や土砂災害を抑止し、さらには地球温暖化の防止に貢献するなど、私たちの生活と深くかかわり合い、限りない恩恵をもたらしています。

また、現在、本県の多くの人工林は木材生産が可能な時期を迎えており、この資源を持続的に循環利用し林業の成長産業化を図ることによって、地方創生はもとより、持続可能な開発目標（SDGs）の達成や2050年カーボンニュートラルの実現に大きく貢献するものと期待されています。

私たちは、こうしたかけがえのない森林を県民共通の財産として、すべての県民で守り育て、森林がもたらす豊かな暮らしを未来につないでいく必要があります。

かごしまみどりの基金では、「緑の募金法」に基づく緑の募金運動を核にしながら、森林やみどりの重要性等についての普及啓発や緑の少年団の育成、森林ボランティア等による森林づくりや緑化活動の支援を通じて、緑豊かな美しい県土づくりに取り組んでいます。

この「かごしまみどりの基金だより」は、緑の募金の社会的意義と役割に鑑み、緑の募金の使途等について、募金者をはじめ、広く、県民、企業、団体等の方々に御理解いただくために作成しているものです。

この冊子によって、県民の皆様の緑の募金への更なる御支援・御協力の輪が広がるとともに、豊かな森林を次の世代に引き継いでいくための活動の一助になれば幸いです。

令和5年10月

公益財団法人 かごしまみどりの基金

目次

I 緑化推進運動	
1 緑化推進の意義	1
2 緑化推進運動の歴史	1
3 本県における緑化推進体制	1
II 緑の募金	
1 緑の募金活動	2
2 緑の募金の使い途	5
III 緑の募金等を活用した取組の概要	
1 普及・啓発	5
(1) みどりの感謝祭	5
(2) 九州森林の日植樹祭	6
(3) 地区植樹祭	6
(4) かごしま木材まつり	6
(5) 国土緑化運動ポスター原画コンクール	7
2 緑の少年団の育成と活動支援	
(1) 緑の少年団の目的と組織	8
(2) 緑の少年団の活動状況	9
3 森林ボランティアの育成と活動促進	
(1) かごしま森林の学校	10
(2) 森林ボランティア技術研修	11
(3) 森林ボランティアの日の活動	11
(4) 森林ボランティア連絡会	12
4 緑の募金事業（公募方式の事業）	12
(1) 森林の整備	12
(2) 緑化の推進	13
5 緑の募金学校の緑整備事業	14
6 学校環境緑化モデル事業	14
7 「木育」普及促進事業	15
8 名木・古木等緑の文化財保全事業	15
9 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業	16
10 企業等との連携による森づくり	16
■ かごしまみどりの基金の組織体制等	18

I 緑化推進運動

1 緑化推進の意義

森林は、木材等の林産物を供給するだけでなく、国土を守り、多様な生物を育て、澄んだ空気や清らかな水を生み出すなど、人々の生活と深くかかわり合い、限りない恵みをもたらしています。

また、2015年国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成や2050年カーボンニュートラルに向けた取組に貢献するためにも、森林の果たすべき役割はますます重要となっており、このかけがえのない森林を社会全体で支えながら森林がもたらす豊かな暮らしを未来につないでいく必要があります。

2 緑化推進運動の歴史

我が国においては、戦時中の軍需資材や戦後の復興資材として大量の木材が必要になり多くの森林が伐採されました。

この結果、森林は大きく荒廃し、各地で台風等による大規模な山地災害や水害が発生し、国民の間に国土保全や水源涵養の面から森林造成の必要性が強く認識されるようになりました。

こうした状況の中、昭和25年に「国土緑化推進委員会」が設立され、「緑の羽根募金」活動や学校林活動を核とした国土緑化運動が始められています。

また、同年、国土復興への願いを込めて「荒れた国土に緑の晴れ着を」をスローガンに、天皇皇后両陛下をお迎えして、初めての全国植樹祭が開催されました。

このような動きを受けて、昭和26、27年には各都道府県に「都道府県緑化推進委員会」が結成されて、「緑の羽根募金」活動や植樹活動が全国的に展開されることになりました。

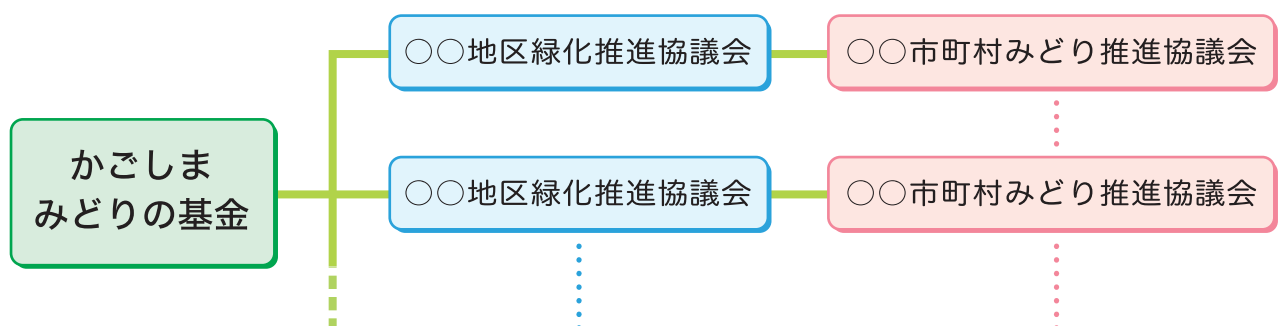
平成7年に「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」（通称「緑の募金法」）が制定され、「緑の羽根募金」は「緑の募金」として法的な根拠を得ました。

今日では多くの国民の賛同のもと、この「緑の募金」活動を核として幅広い緑化推進活動が進められています。

3 本県における緑化推進体制

昭和26年に「鹿児島県緑化推進委員会」が設立され、平成5年にこれに代わる組織として、県、市町村、企業・団体等の寄付により「財団法人かごしまみどりの基金」が設立され、さらに平成23年に公益財団法人となり、幅広い緑化推進運動を展開しています。

また、県の各地域振興局・支庁を単位として「地区緑化推進協議会」が、県内全ての市町村に「市町村みどり推進協議会」が設置されており、かごしまみどりの基金と連携して緑の募金活動や独自の緑化推進活動を行っています。



II 緑の募金

1 緑の募金活動

平成7年に制定された「緑の募金法」に基づき、本県では公益財団法人かごしまみどりの基金のみがその実施団体として指定されています。

募金活動は、かごしまみどりの基金、地区緑化推進協議会、市町村みどり推進協議会が連携しながら、地域自治会等を通じた家庭募金を中心として、企業募金、職場募金、学校募金、街頭募金など様々な方法で協力をいただいています。

(1) 募金期間

春期 …… 2月1日～4月30日

秋期 …… 9月1日～10月31日

緑の募金街頭キャンペーン

毎年2月1日は春季募金期間の開始に当たり、森林ボランティアなど関係者が出席し、「緑の募金スタート式」と「街頭キャンペーン」を行っていましたが、令和元年度から新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止しました。

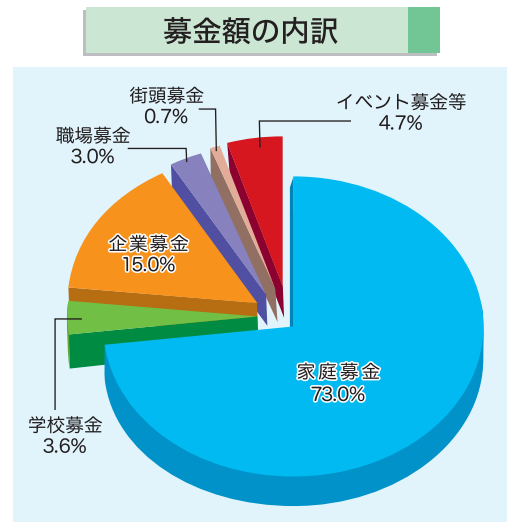
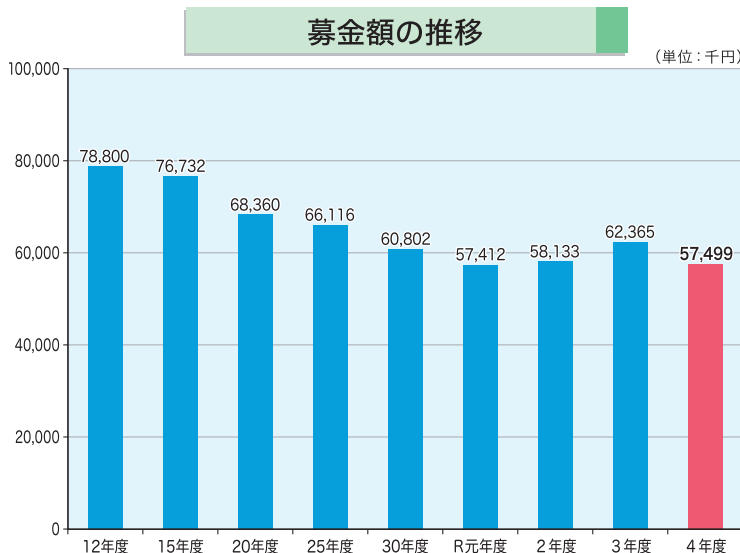
昨年度は、4年振りに「街頭キャンペーン」を実施することができました。



令和4年度の街頭キャンペーン

(2) 募金の実績

令和4年度 緑の募金実績 …… **57,499千円**



(3) 募金活動の様々な形

■家庭募金、学校募金

家庭募金は、市町村みどり推進協議会が、自治会等の全面的な協力をいただいで進めており、緑の募金の大部分を占めています。また、学校においても、子どもたちの緑化意識向上の観点から、緑の募金に協力いただいています。

■企業・団体募金，職場募金

社会貢献活動の一環として，多くの企業や団体から寄付していただいています。
また，企業・団体の職員の方々には職場募金にも協力いただいています。

企業・団体募金の事例

(敬称略)

●京セラ株式会社

社会貢献活動の一環として，毎年，県内の3工場（鹿児島国分工場，同川内工場，同隼人工場）から緑の募金を贈呈していただいています。



●株式会社伊藤園

おーいお茶「お茶で日本を美しく。」キャンペーンの一環として「鹿児島県の豊かな森林を守り育てる活動」に緑の募金を贈呈していただいています。



●鹿児島トヨペット株式会社

みどり豊かな街づくりを目指して毎年行っておられる「ふれあいグリーンキャンペーン」活動の一環として緑の募金を贈呈していただいています。

令和4年度に3万円以上の御寄付をいただいた企業・団体様

所 在	企業・団体名	所 在	企業・団体名
鹿 児 島 市	(一社)鹿児島県建設業協会	鹿 屋 市	大隅森林組合
	(株)Eastone		(株)鹿栄電設
	(株)サタコンサルタンツ	阿 久 根 市	吉野木材(有)
	(株)ヤマト機械		(有)辻産業
	(株)九電工	出 水 市	(株)田頭建設
	(株)建築工房匠		北薩森林組合
	(株)西原商会	薩 摩 川 内 市	京セラ(株)鹿児島川内工場
	(株)南日本新聞メディアプロ		(有)今藤林業
	(公社)鹿児島県トラック協会	日 置 市	中越パルプ工業(株)川内工場
	(公社)鹿児島県獣医師会		吉村興業(株)
	FVジャパン(株)	霧 島 市	京セラ(株)鹿児島国分工場
	NPO法人森と木の研究所		(株)ヤマトク
	えむ・ふぁみりー会		(株)山下林業
	九電グループ		京セラ(株)鹿児島隼人工場
	コカ・コーラボトラーズジャパン(株)	いちき串木野市	医療法人白秋会徳永医院
	ガイドードリンコ(株)		鹿児島県森林土木協会日置支部
	永田重機土木(株)	南 さ つ ま 市	(有)坂口虎竹園
	三富興業(株)	志 布 志 市	曾於地区森林組合
	三洋工機(株)	伊 佐 市	(有)西林業
	鹿児島トヨペット(株)		(株)甲斐商店
	鹿児島県砂利協同組合連合会	始 良 市	始良西部森林組合
	鹿児島県森林組合連合会	さ つ ま 町	北さつま農業協同組合
	鹿児島県木材協同組合連合会	錦 江 町	白玉醸造(株)
	鹿児島県遊技業協同組合	千葉市美浜区	(株)未来屋書店
	鹿児島信用金庫	福岡市博多区	(株)伊藤園
	城山観光(株)		
	図南木材(株)		
	大福コンサルタント(株)		

(敬称略，順不同)

■店頭募金

コンビニエンスストアやファミリーレストランをはじめ、多くの商業施設で、店頭で募金箱を置いていただき、来店者の協力をいただいています。

店頭募金の事例

●株式会社南九州ファミリーマート

株式会社南九州ファミリーマートでは、本県の緑化の推進に役立てることを目的に、同グループを挙げて店頭募金に取り組んでいただいています。



■街頭募金、イベント募金

森林ボランティアや緑の少年団の協力をいただきながら、繁華街での街頭募金や様々なイベントで募金活動を行っています。



天文館での街頭募金

■緑の募金対応の飲料水自動販売機

ペットボトルや缶など飲料水の販売会社と設置者及び当基金との契約に基づいて、自動販売機での売上の一部を緑の募金として寄付していただいています。

現在、7つの販売会社と契約し、公共施設や事業所などに27基設置しています。



緑の募金対応の自動販売機

緑の募金対応の飲料水自動販売機設置オーナー様

設置箇所	オーナー	設置箇所	オーナー
鹿児島市	(株)鹿児島不動産バンク(2)	霧島市	県森連準人木材流通センター
	板東機工(株)		(株)信栄製作所
	マリポートかごしま(2)		MEC Industry(株)
	鹿児島県庁(2)		国分じょうもん市場
	鹿児島県林業会館(3)	いちき串木野市	東市来文化交流センター
	鹿児島印刷工業団地	(株)西別府弘組	
	(株)サニックス鹿児島支店	南九州市	かごしま森林組合
出水市	クリーニング大洋	始良市	森の研修館かごしま
薩摩川内市	中越パルプ工業(株)川内工場	さつま町	太平ミニゴルフ
日置市	国民宿舎吹上砂丘荘	枕崎市	(株)サニックス枕崎営業所
指宿市	道の駅山川港活お海道	大崎町	ジャパンファーム大崎

(敬称略, 順不同)

■カレンダーバザー

全国の企業等から寄贈していただいたカレンダーを県民の皆様にご覧いただき、売り上げの全額を緑の募金としています。令和4年度も、鹿児島市のイオン鹿児島鴨池店、始良市のイオンタウン始良、霧島市のイオン準人国分店で多くの森林ボランティアの協力をいただいで実施しました。



霧島市でのバザー

■「キモチと。」募金（古本等で森林づくり）

家庭や職場で不要となった本やDVD等を寄贈していただき、ブックオフの古本等の買取制度を活用して換金された全額を緑の募金として受け入れています。



2 緑の募金の使い途

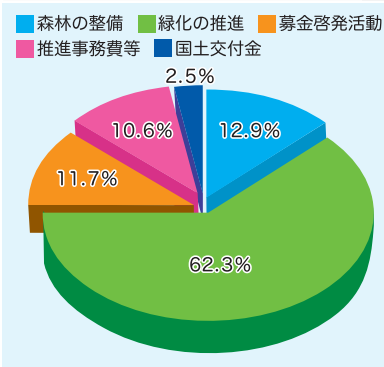
緑の募金法により、森林の整備、緑化の推進及びこれらについての国際協力、並びに緑の募金の啓発・普及に関する事務・事業に使用するように定められています。

本県の令和4年度の緑の募金の使い途は右のグラフのとおりです。

なお、各市町村みどり推進協議会を通じて寄せられた募金については、募金額の6割が各々の協議会に交付され、市町村独自の森林整備や緑化活動等に活用されています。

(右のグラフは、市町村分も含む)

令和4年度 緑の募金の使い途



III 緑の募金等を活用した取組の概要

1 普及・啓発

県民の皆様へ、森林とふれあい、森林の働きや森林整備の必要性等について理解を深めていただくため、広報誌の発行やイベントの開催など様々な活動を行いました。

(1) みどりの感謝祭

県民の方々に、森林に親しんでいただくために毎年4月29日に、県との共催で県民の森において「みどりの感謝祭」を開催していますが、令和4年度は、3年振りの開催となりました。

式典のほか森の散策、クラフト教室など多彩な催しが行われ、緑の少年団をはじめ家族連れなど約1,000人が、県民の森を楽しみました。



式典



緑の少年団の活動発表



クラフト教室



(2) 九州森林の日植樹祭

平成20年に、九州7県と九州森林管理局が、11月第2日曜日を「九州森林（もり）の日」と定めたことを受けて、本県では、森林を守り育て未来に引き継ぐための活動として毎年植樹祭を開催しています。

令和4年度は、11月19日に霧島山国有林において、企業や森林ボランティア団体、緑の少年団など約300人が参加し、ヤマザクラ、イロハモミジ、ヤマボウシ等11種類の植樹を行いました。



式典



植樹



植樹

(3) 地区植樹祭

多くの県民に植樹活動に参加していただき、森林整備や環境緑化への理解を深めていただくために、県内各地で地区植樹祭が開催されています。

かごしまみどりの基金では、各地区で開催される地区植樹祭の開催に際し、理事長からメッセージを送るとともに、苗木代等の助成を行いました。

令和4年度の地区植樹祭の開催状況

地区	植樹場所	植栽木
鹿児島	鹿児島市喜入一倉町 観光農業公園グリーンファーム	ソメイヨシノ、イロハモミジなど 123本
北薩	薩摩川内市祁答院町 蘭牟田池自然公園	ソメイヨシノ、ヒラドツツジなど 155本
大隅	南大隅町佐多馬籠 佐多大泊みさきドーム	ウバメガシ、クロマツなど 255本
熊毛	中種子町 太陽の里敷地内ほか	松月桜、河津桜 86本

(4) かごしま木材まつり

かごしま木材まつりは、10月8日の「木の日」にちなんで、県民の方々の県産材に対する理解を深め利用拡大を図ることを目的として毎年実施されています。

かごしまみどりの基金では、県産材の利用が森林所有者の森林経営意欲増進へ、さらには森林整備へと繋がることを期待し、開催経費の一部を助成しています。



木材の良さや温かみを肌で感じる機会を提供

(5) 国土緑化運動ポスター原画コンクール

国土緑化運動の一環として、森林や私たちの身近な緑を守り育て、次の世代へ引き継いでいくことの大切さを広く普及するため、令和2年度から実施しています。

令和4年度は、小学校29点、中学校21点、高等学校3点の計53点の応募があり、下記のとおり16名の方々の作品16点の入賞が決定されました。

なお、13点の入賞作品については、(公社)国土緑化推進機構が主催する中央審査会へ推薦しました。この中で、中学校の部の谷口真愛さんの作品は、「国土緑化推進機構理事長賞」も受賞しました。

(学年は応募時、敬称略)

区分	賞	入賞者
小学校	最優秀賞	梶ヶ山悠莉(4年生)
	優秀賞	東 歩久(2年生)・古園まりあ(5年生)
	優良賞	谷川 うの(5年生)・村岡 姫菜(5年生)・吉野 晴(3年生)
中学校	最優秀賞	谷口 真愛(3年生)
	優秀賞	石井 悠菜(3年生)・廣瀬百合栞(1年生)
	優良賞	高山 裕迦(2年生)・平田 涼華(3年生)・鳥越 貫太(1年生) 坂口 心音(1年生)
高等学校	最優秀賞	安永 雄亮(2年生)
	優秀賞	竹原 清人(3年生)・湯田平晃誠(3年生)



最優秀賞作品

小学校の部



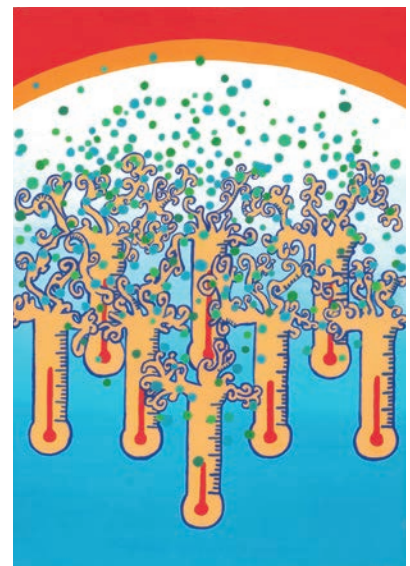
「森の仲間たち」

中学校の部



「馴染みのある姿」

高等学校の部



「クールグリーン」

2 緑の少年団の育成と活動支援

(1) 緑の少年団の目的と組織

緑の少年団は、次代を担う子供たちが緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした自主的な団体で、学校や地域を単位として、小・中学生を中心に結成されており、令和5年7月現在、45団、1,356人が活動を行っています。

また、各緑の少年団ごとに少年団を育成・指導する育成会が組織されており、育成会を含め、緑の少年団鹿児島県連盟が結成されています。

緑の少年団一覧

(令和5年7月現在)

支部	団名	小学生		中学生		合計	支部	団名	小学生		中学生		合計
		男	女	男	女				男	女			
鹿児島	清水中			26	23	49	始良・伊佐	霧島小	5	1			6
	吉野東中			19	11	30		霧島山	4	9			13
	河頭中			12	18	30		竹子	13	13			26
	皇徳寺中			11	15	24		安良	10	15			25
	福平中			19	10	29		高岡	21	12			33
	緑丘中			40	31	71		蒲生くすのき	2	3			5
	鹿大付属中			15	15	30		高熊山	10	5			15
	武岡中			8	1	9		本城	13	22			35
	長田中			7	11	18		長谷	4	3			7
	西紫原中			13	9	34		川添	6	5	3	3	17
	桜島中			26	18	34		幸田小	14	5			19
	鹿児島玉龍			166	186	352	11団	102	93	3	3	201	
	川上	11	13			24	曾於	恒吉小	6	5			11
	飯牟礼小	13	9			20		潤ヶ野	16	17			33
	竹島	3	5	1	4	13		持留小	14	12			26
	16団	28	26	363	352	747		3団	36	34			70
南薩	知覧小	3	5			8	肝属	横尾岳	17	16			33
	青戸	5	1			6		佐多小	8	7			15
	顚娃・郡	6	9			15		2団	25	23			48
	3団	14	15	0	0	29	大島	高千穂	12	10			22
佐志	1	4			5	大山		8	11			19	
永野	10	4			14	赤木名		11	23			34	
里	7	11			18	田検小		24	13			37	
蔵之元	11	14			25	花徳小		25	22			47	
北薩	入来	12	6			18	5団	80	79			159	
	計						45団	325	310	366	355	1,356	
	5団	41	39			80	学校単位 38団	264	240	349	352	1,213	
						地域単位 7団	61	70	4	7	142		

※朱書きは地域単位で結成された団

(2) 緑の少年団の活動状況

緑の少年団は、「みどりの感謝祭」や地区植樹祭などのイベントへの参加、地域ごとの緑の少年団交流集会、各団独自の森林体験・学習や緑化活動のほか、街頭募金などの活動にも積極的に取り組んでいます。

また、毎年「緑の少年団活動発表大会」が開催され、日頃の活動内容を発表し合うとともに、団相互の交流を図っています。



みどりの感謝祭に参加



植樹活動



緑の募金活動

緑の少年団活動発表大会

令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止のため各団が撮影した動画により発表・審査を行いました。

4つの団が日頃の活動について発表し、審査の結果、飯牟礼小緑の少年団が最優秀賞に選ばれました。



審査

発表団と発表内容

飯牟礼小緑の少年団（日置市）

少年団活動が人と地域をつなぎ、自然環境の保全につながるという考えのもと、学校林や飯牟礼の山を通した「学ぶ活動」と募金活動や植樹活動の「緑を大切にする取組」を実施しました。



青戸緑の少年団（南九州市）

自然の中で学び・遊びながら、地域の自然を守るための、花壇づくりや大野岳のハイキング・清掃活動、募金・植樹の緑化活動を実施しました。



竹子緑の少年団（霧島市）

「栽培」、「交流」、「学習」、「体験・工作」の4つのテーマのもと、しいたけの駒打ちや施設訪問、森林教室、門松づくりなどの活動を実施しました。



恒吉緑の少年団（曾於市）

森林の働きを考える学習会や学校林散策、地域の方々との交流を図る門松づくりやしいたけの駒打ち、身の回りの自然と食を考える学習などの活動を実施しました。



3 森林ボランティアの育成と活動促進

森林やみどりの保全・育成等に高い意識を持つ県民が、自発的に森林ボランティア団体を結成し、植樹や育樹活動に取り組んでいます。

各森林ボランティア団体は、地域の特性や構成員の持っている知識・技能を生かしながら、植栽、間伐等の森林整備をはじめ、県民・子どもたちを対象とした森林学習、木工・クラフト体験、自然観察会の開催など多彩な活動を展開しています。

かごしまみどりの基金では、森林ボランティアの育成を図るとともに、団体の活動を支援しています。

(1) かごしま森林（もり）の学校

森林ボランティアリーダーを養成するため、平成20年度から「かごしま森林の学校」を開催しています。

森林の学校では、大学の先生、木材や建築の専門家などを講師に迎え、森林・林業や木材に関する知識、森林体験活動の進め方などについて、座学や実習を交えて学習します。

受講生は、修了後、ボランティアグループを結成するなどして、実践活動に取り組んでいます。令和4年度は7日間の講義を実施し、16人が履修しました。

「かごしま森林（もり）の学校」の修了者数

(単位：人)

年度	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27
人数	29	25	32	22	32	7	10	9
年度	平28	平29	平30	令和元	令和2	令和3	令和4	累計
人数	10	11	9	10	10	10	16	242





座 学



森林づくりの体験学習



森林の生態の学習



植物の分類の学習



庭木の剪定の学習



特用林産物の学習

(2) 森林ボランティア技術研修

森林ボランティア活動に必要な刈払機，チェーンソーの安全かつ的確な操作技術を習得するための「森林ボランティア技術研修（初級，中級）」を開催しています。

令和4年度は初級研修4回，中級研修3回の計5回開催し，延べ107人が受講しました。



座 学



刈払機実技



チェーンソー実技

(3) 森林ボランティアの日の活動

森林を守り育てることの大切さを認識し，一人ひとりがそれぞれの立場で森林づくりに参加する気持ちを醸成するとともに，森林ボランティア活動の社会的評価を高めることを目的に9月第3日曜日が「森林ボランティアの日」と定められています。

本県では，例年この時期に，県下各地で活動している森林ボランティアが集結し，森林整備等の活動を実施しています。

令和4年度は，12月3日に，南さつま市の吹上浜海浜公園に隣接する国有林において125人の参加者のもと，抵抗性クロマツの苗1,000本の植栽を行いました。



集合写真



開 会 式



植樹活動

(4) 森林ボランティア連絡会

森林ボランティア団体の相互の研鑽と連携を図りながら、森林やみどりに関する啓発活動や森林整備活動などの効果的推進を図ることを目的に、「鹿児島県森林ボランティア連絡会」が結成されています。この連絡会には現在22団体が加入しています。(加入団体は次表のとおりです。)

鹿児島県森林ボランティア連絡会加入団体一覧表（令和5年7月1日現在） （順不同）

団 体 名	代 表 者	所 在 地	構 成 員 数
鹿児島県森林インストラクター連絡協議会	大 蘭 邦 宏	鹿 児 島 市	28
みどりの二季会	内 野 一 幸	鹿 児 島 市	16
かごしまふるさと森林インストラクターの会 <small>さんきかい</small> 山輝会	清 家 優 子	始 良 市	23
特定非営利活動法人 四季の会	塩 川 英 彬	始 良 市	42
さつまグリーンヘルパーの会	弓 指 純 二	鹿 児 島 市	10
特定非営利活動法人 森のヘルパー森林整備隊	前 田 誠	曾 於 市	20
鹿児島県グリーンマスターの会	久 永 悟	鹿 児 島 市	9
グリーンアートさつま	岩 重 澄 夫	日 置 市	9
蒲生郷「おかべ会」	川 添 正 剛	始 良 市	18
森林の学校 一歩会	斉 野 隆 志	鹿 児 島 市	23
はっぱクラブ	坂 元 光 則	薩 摩 川 内 市	17
フォレスト22	宮 内 英 世	鹿 児 島 市	27
かごしまどんぐり三期会	有 田 肇	鹿 児 島 市	15
特定非営利活動法人 森と木の研究所	大 坪 弘 幸	鹿 児 島 市	14
もりはやし倶楽部	木 之 下 勇 一	鹿 児 島 市	8
森林人	園 田 伸 一	鹿 児 島 市	6
<small>もりんちや</small> 森人 <small>カイ</small> リン5の会	山 元 喜 平	始 良 市	5
特定非営利活動法人 NPO-WBCかごしま	高 山 信 義	日 置 市	28
ふるさと再生プロジェクトの会	東 道 也	鹿 児 島 市	25
平田の里山	池 田 和 吉	鹿 児 島 市	8
こもれびの森「竹山」	二 見 晴 彦	霧 島 市	9
Q樹会	上 脇 田 寛	鹿 児 島 市	9
計 22 団体			369

4 緑の募金事業（公募方式の事業）

森林ボランティアや自治会等の団体が行う森林整備や緑化の推進活動に対し、公募方式により助成しました。

(1) 森林の整備

実施主体	事 業 概 要	事業箇所
桜島どんぐりの森管理委員会	平成21年度から桜島で実施してきた近隣の緑の少年団の育樹体験活動の広葉樹植栽地を植栽木の健全な育成と保全のため、下刈・クズ枯殺・除伐・枝払いなどの保育活動を継続して実施	鹿 児 島 市 桜 島 赤 水
N P O 法 人 四 季 の 会	親子を対象とした筍掘り体験等に活用するため、里山の荒廃竹林の整備を実施 竹林は急傾斜が多いため、安全確保のため階段を設置し、併せて歩道整備を実施	始 良 市 霧 島 市
NPO法人ふるさと再生プロジェクトの会	青少年を対象とした環境教育、体験学習の場として、新島の林間広場、緑陰広場、林間歩道の整備等を実施	鹿 児 島 市 桜 島 新 島
かごしまどんぐり三期会	青少年の森林環境の学習、体験活動の場、イチヨウ、モミジ、サクラ等を観賞できる憩いの場として整備し、森林環境教育のフィールドづくりを実施	鹿 児 島 市 平 田
蒲生郷おかべ会	桜並木等の下刈作業や小学生を対象とした自然体験活動等の活動拠点「さと山」や住吉池の森林整備等を実施	始 良 市 蒲 生 町

実施主体	事業概要	事業箇所
N P O - W B C かごしま	日置市東市来町総合運動公園隣接地の荒廃山林を子供達の環境教育の拠点や市民の憩いの場として活用するため、侵入竹の伐採や木柵の整備等を実施	日置市 東市来町
柴引自治会	柴引地区の住宅や学校があるエリアにある竹林は、十分な整備がなされていないため、地域住民が交流できるよう竹林を整備し、春には筍掘り体験ができるよう整備を実施	出水市 高尾野町
N P O 法人 森と木の研究所	指宿スカイライン沿いの景観向上と美しい里山づくりのため、「千本桜の森」を目指して、ソメイヨシノ、ヤマザクラ植栽のほか歩道整備およびウッドデッキを設置	南九州市 頰娃町
森林の学校一歩会	広葉樹林の抜き伐りや、植栽地の下刈、竹林整備および子ども達を対象とした筍掘り体験を実施	鹿児島市四元 始良市北山



広葉樹植栽地の保育



美しい里山づくり



子供たちの筍掘り体験

(2) 緑化の推進

実施主体	事業概要	事業箇所
出水地域 木材利用推進協議会	「くらしと木材まつり」を開催し、森林・林業・木材についてのパネル展示や緑の募金のPRを実施	出水市総合 運動公園
屋久島町 みどり推進協議会	「屋久島木材フェスタ」を開催し、森林・林業に関するパネル展示や木工体験、緑の募金活動等を実施	屋久島町
鹿児島県森林インス トラクター連絡協議会	地元のあいご会等を対象とした木工クラフト体験等などの森林環境学習及びクヌギ林の下刈作業を実施	鹿児島市(西俣ほか) 始良市蒲生
さつま グリーンヘルパーの会	明治産業革命構成遺産「寺山の炭窯跡」に隣接する竹林の整備及び桜島自生の山桜の育苗・植樹活動を実施	鹿児島市寺山 // 桜島
もりはやし倶楽部	森林ボランティアによる下刈・除伐作業及び一般県民を対象とした椎茸種駒打ち体験等を実施	鹿児島市 春山
グリーンアートさつま	「飯牟礼アートの森」の下刈、歩道整備及び親子を対象とした木工クラフト、椎茸種駒打ち体験等を実施	日置市 伊集院町
こもればの森「竹山」	地域内外の多くの人々に、身近な里山や渓流での自然活動体験を通じて、自然環境保全や森林に対する啓蒙活動の実施	霧島市 溝辺町
みどりの二季会	森林ボランティアによる下刈・竹林整備及び椎茸種駒打ち、筍掘り体験等を実施	鹿児島市 霧島市牧園
Q 樹 会	森林環境教育の拠点となる竹林の整備、椎茸の種駒打ち、木工教室、筍掘り等の森林体験活動を実施	薩摩川内市 霧島市 鹿児島市
現和校区	校区グラウンド周囲の一部と旧中学校公園に桜を植栽し、校区民と周辺の保育園、介護施設等との交流活動や校区行事の開催など校区民が集える豊かな自然環境整備を実施	西之表市
長島町 みどり推進協議会	町内のボランティア団体や小学校の児童・生徒と連携し、四季折々に感じる香木の植樹体験を実施 植樹前には、大径木の伐採作業を見学させるなど、併せて森林環境教育を実施	長島町 鶯
N P O 法人四季の会	竹林内で、竹林の学習やタケノコ掘り体験のほか、木工体験のイベントを実施、また、さえずりの森に新しく「山菜の森」を造成し、春の訪れとともに山菜の恵みを楽しんでもらえるよう環境整備を実施	霧島市溝辺町 始良市加治木町
N P O 法人 森と木の研究所	かねてから広く市民に開放された広場である平佐城跡の一部である「平佐の杜」が、一部、荒廃していたため、ヤマザクラやイロハモミジなどの植樹のほか、ピオトープの整備を行うことで、より多くの市民に親しまれる緑の空間づくりを実施	薩摩川内市 平佐町
春日の森を守る会	以前から地域の鎮守の森として親しまれてきた「春日神社」のある森林が荒廃し、倒木や枝条落下等の危険もあったため、地域住民とともに支障木の整備や下刈を行い、植樹を実施 整備完了後、子供たちに対し、鎮守の森の観察会などの環境教育を実施	始良市 加治木町
N P O 法人 ドリームプロジェクト	地域でのイベント開催時に、地域の子供たちによる椎茸種駒打ち体験を実施	西之表市



くらしと木材まつり



児童・生徒の植樹体験



子供たちの森の観察会

5 緑の募金学校の緑整備事業

児童・生徒等が森林・林業・みどりへの理解を深めるとともに、豊かな情操を育むことを目的に、使途指定募金のトヨペット募金も活用し、学校林の整備や学校環境緑化等の取組に対し助成しました。

実施主体	事業概要
鹿児島市立玉江小学校	学校林を児童の環境教育の場として活用し、森に生きる昆虫や実のなる樹木の観察、椎茸栽培の体験活動など、教室ではできない五感を伴った学習を行うための整備を実施
日置市立上市来小学校	学校林での環境教育活動を行うにあたり、林内が密生し枯れ枝や枯れ木が発生し、不規則な樹形の木も散見されることから、生徒たちが安全に活動できるよう林内整備を実施 また林内のクヌギをシイタケ原木に活用し、生徒による駒打ち体験を行い、ほだ場を設置
大崎町立大崎中学校	校内敷地には、まばらに樹木が植樹されており、季節風などの強風が吹くと校庭からの砂が飛散する状況にあったため、校庭の周囲に飛砂防止のため、シマトネリコを植栽するとともに、生徒が緑に触れ合い、親しむことができる学習環境づくりのため樹木の植樹を実施
龍郷町立龍南中学校	学校内の緑化を図るため、ケラマツツジとタンカンの苗木を植栽するとともに、併せて保育管理を通して、森林や緑に関する教育を実施 また、生徒と教職員によるベンチ製作を行い、学校行事に活用するほか、学校のシンボルツリー一周辺に設置し、豊かな心を育む環境教育活動を推進



玉江小学校



上市来小学校



大崎中学校



龍南中学校

6 学校環境緑化モデル事業

児童・生徒等の豊かな情操を育むことを目的として、学校が行う環境緑化や環境教育等の取組に対し助成しました。

実施主体	事業概要
鹿児島市立谷山小学校	・植樹（アジサイ：32本） ・樹木の手入れ（樹名板の設置、枝払い、剪定等） ・観察池の改修工事（漏水箇所の補修、給水・排水設備の整備、防鳥ネット用支柱の補強、水路の改修） ・看板の設置 ・友情の森周辺の柵の整備
伊佐市立羽月小学校	・植樹（イヌマキ：10本） ・樹木の手入れ（伐採：9本、枝払い：6本） ・木製ベンチ設置 ・学級園木柵設置 ・樹木札の設置 ・看板設置

鹿児島市立谷山小学校



友情の森の清掃



植栽作業



記念撮影

伊佐市立羽月小学校



記念植樹



花壇の手入れ



記念撮影

7 「木育」普及促進事業

児童・生徒に、実際に木に触れてもらい、木の良さや木材を利用することの意義を理解してもらうための教育活動（「木育」）の一環として、移動木工車「トンカチ号」を活用した木工教室の開催に対して、材料費の一部を助成しました。

実施団体	参加者数	
日置市鶴丸小学校 など15団体	児童・生徒	236人
	保護者等	100人
	計	336人



親子木工教室

8 名木・古木等緑の文化財保全事業

県内各地に存在する名木・古木等を保全するため、市町村みどり推進協議会から申請があった6本について樹木医による診断と保全措置を行いました。

診断と保全措置を実施した箇所

所在地	樹種/推定樹齢	措置の概要
伊佐市大口 【羽月小学校】	カヤノキ 140年	敷地造成工事で根系が切断された状態でコンクリート枠が設置され、さらには、枠内にはアセビも植栽され慢性的な養分不足が生じていたため、隣接木のアセビを移植するとともに、コンクリート枠外の通路部分を深さ60cm掘削し、土壌改良を施して根系伸長を誘導する通路を作成。また、衰弱が進んだ枯枝を高所作業車で除去した。
鹿児島市四元町 【山の神御堂】	スダジイ 350年	地上約10m付近に、腐朽力の強い30cm超えのコフキサルノコシカケの子実体があったため、子実体を除去。また、3本とも共通して枯枝が見られたため除去した。
南さつま市 加世田宮原 【益山小学校】	イチヨウ 約120年	土壌固化により根系発達に障害があり、葉が矮小し、枝の伸長も少なくなっていた。さらに、コフキサルノコシカケの子実体やツタや木本植物が幹に着生し、枝先までつたって生育を阻害していたため、土壌改良と、幹折れを防ぐための適切な剪定を行い殺菌防腐剤を塗布するとともに、コフキサルノコシカケの子実体と着生植物を撤去した。
南さつま市 加世田小湊 【小湊小学校】	センダン 約120年	これまでの不適切な剪定が理由で幹折れが起こる可能性が大きかったため、樹形を考慮し、太枝を切り戻して剪定。剪定した切り口には、殺菌防腐剤を塗布し、ツタなどの着生植物は撤去した。また、幹内部に不定根の発生が確認されたため、塩ビ管を利用し、不定根誘導を行った。
南さつま市 加世田津貫 【こどもの森保育園】	ソメイヨシノ 40年	樹幹の傾斜、他樹木の枝と接触、てんぐ巣病感染、穿孔虫被害、幹辺材腐朽・根株心材腐朽などが見られ、樹勢が低下傾向にあったため、競合している生育空間を改善し、土壌改良、腐朽箇所の剪定除去、殺菌防腐剤の塗布、てんぐ巣病罹病枝の除去を行った。
大島郡和泊町 【城ヶ丘中学校】	ガジュマル 約100年	コンクリート舗装により根元が囲われ、根の伸長を止めていたため、コンクリート舗装を撤去。根系の活動域を広げ樹勢回復を促すため、土壌改良、客土の補填、砂利敷き、枯れた大枝の撤去を行った。



羽月小学校（カヤノキ）



山の神御堂（スダジイ）



益山小学校（イチヨウ）



小湊小学校（センダン）



こどもの森保育園（ソメイヨシノ）



城ヶ丘中学校（ガジュマル）

9 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業

森林の多面的機能の発揮を図るとともに、山村地域のコミュニティを維持・活性化させるため、地域住民やNPO法人、民間団体等による里山林等の保全管理活動等の取組を支援しました。

実施主体	事業概要	事業箇所
出水さとやまよくし隊	荒廃した身近な里山の再生と活用を図るため、スギ人工林の雑木の除去、間伐、荒廃竹林の整備を実施。（令和2年度～令和4年度）	出水市高尾野町
持続可能な里山めざし隊	里道の復元や作業道の整備による竹林の改良を行うため、広葉樹や密生している孟宗竹の除伐を実施。（令和4年度～令和6年度）	大崎町

出水さとやまよくし隊（里山林の整備活動）



刈り払い作業



伐竹作業



メンバーの皆さん

持続可能な里山めざし隊（里山林の整備活動）



伐竹作業



伐竹作業



メンバーの皆さん

10 企業等との連携による森づくり

環境問題に対する企業等の意識が高まっている中、より直接的に森林づくり等に取り組みたいという企業・団体の意向を受け、「かごしま森づくりコミッション」がコーディネーターとなって、森林ボランティア団体とも協力しながら、森づくり活動を進めました。

【かごしま森づくりコミッション】

かごしまみどりの基金では、県内における企業やNPO等多様な主体による県民参加の森づくりを推進することを目的として、鹿児島県、鹿児島県森林組合連合会、鹿児島県森林ボランティア連絡会、鹿児島森林管理署と連携しながら、①企業との協働による森づくりの推進、②森林ボランティア等人材の育成、③安全衛生教育等の充実、④その他、多様な主体による県民参加の森林づくりに必要な取組を実施しています。

●鹿児島信用金庫との連携

鹿児島信用金庫と当基金では、平成23年から、同金庫の「緑の杜プロジェクト」に基づく緑の募金により、県民の森（丹生附地区）の森づくりに取り組んでいます。

令和4年度は、スギ・ヒノキ林0.2haの間伐を行いました。



緑の募金目録贈呈



間伐後のスギ林



CO2吸収量認定証交付

●米盛建設株式会社との連携

米盛建設(株)では、創業100周年を迎えたことを契機に、SDGsの実現に貢献するため、鹿児島市及び中種子町において、それぞれ森林整備に関する協定を締結し、全グループ社員による植樹活動に取り組むこととし、令和4年から継続的に植樹が行われています。



緑の募金の贈呈



鹿児島市との協定締結



社員による植樹活動

●株式会社肥後産業との連携

(株)肥後産業では創業50周年を迎えたことを契機に、より一層環境保全に貢献したいとの思いから、令和4年から5ヵ年をかけて南九州市の自社所有林に「千本桜の森」を造成することとし、社員のほか取引企業なども参加して、継続的に植樹が行われています。



緑の募金の贈呈



社員等による植樹活動



集合写真

●アサヒビール株式会社鹿児島支社との連携

アサヒビール(株)鹿児島支社の緑の募金をもとに、平成23年に「志布志海辺の森」を造成し、抵抗性マツやウバメガシ、ヒメユズリハなどを植栽しました。

以降、令和3年まで、森林ボランティアや地元関係者などが参加して、その森の下刈やつる切りなどの作業を行っています。



下刈り作業



クズの枯殺作業



集合写真

●九州電力株式会社鹿児島支店との連携

九州電力(株)鹿児島支店から、県内の松くい虫被害林における松林の再生を目的とした用途指定募金を令和3年にいただきました。

いただいた募金を活用し、県内5市町において、抵抗性マツ合計1,000本が地域住民も参加して植樹されました。



緑の募金の贈呈



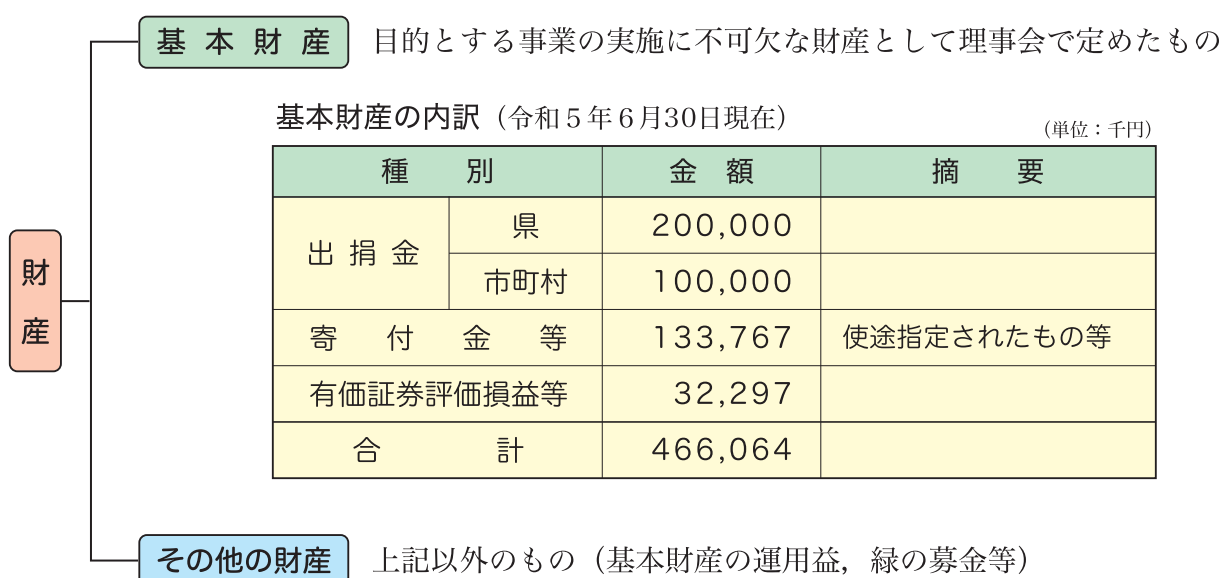
抵抗性マツの植樹活動

かごしまみどりの基金の組織体制等

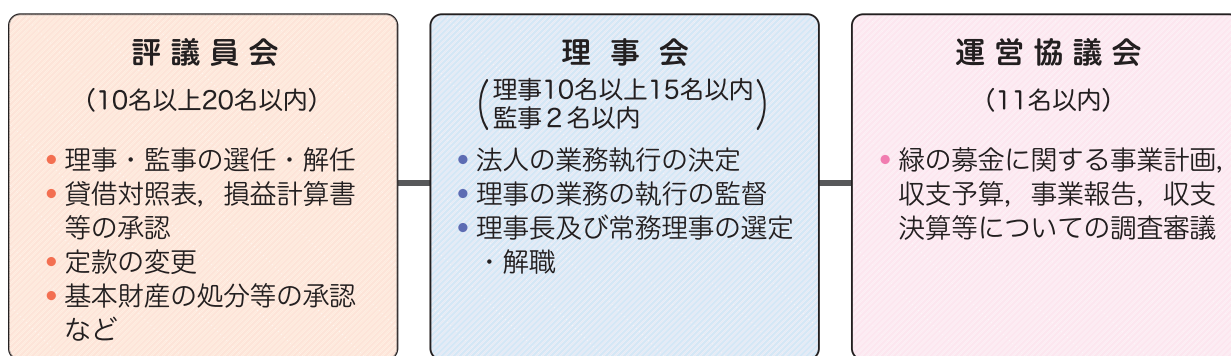
1 沿革

- ・昭和25年 : 全国組織の国土緑化推進委員会が発足，翌26年には各県に緑化推進委員会が設立
- ・昭和26年3月 : 鹿児島県緑化推進委員会設立
- ・平成5年9月13日 : 鹿児島県及び各市町村の出捐金等を基に「財団法人かごしまみどりの基金」設立
- ・平成23年7月1日 : 国の法人制度改革に伴い公益財団法人に移行，現在に至る。

2 財産



3 組織体制



事務局

事務局・スタッフ (R5.7.1~)

職名	氏名	職名	氏名
常務理事	中 蘭 宏 和	総務企画係長	松 元 亜希子
事務局長	中 村 稔 郎	主 事	野 頭 政 賢
事務局次長	永 用 幸 司		

(1) 理事会, 評議員会, 運営協議会 (令和5年8月31日現在)

【理事会名簿】

職名	氏名	所属等
理事長	塩田 康一	鹿児島県知事
常務理事	中 蘭 宏 和	公益財団法人かごしまみどりの基金
理事	中 馬 秀 文	鹿児島市役所産業局長
	福 元 了	肝付町副町長
	香 月 英 伸	鹿児島森林管理署署長
	飯 塚 隆	株式会社南九州ファミリーマート代表取締役社長
	上 國 料 智 紀	鹿児島県農業協同組合中央会専務理事
	高 山 謙 一	鹿児島県連合校長協会理事 (鹿児島市立城南小学校長)
	原 口 義 明	鹿児島県環境林務部部長
監事	大 迫 茂 子	鹿児島県地域女性団体連絡協議会会長
	井 上 恒 治	鹿児島県造園建設業協会会長
	大 窪 郷 子	鹿児島県出納局会計管理者兼局長

【評議員会名簿】

氏名	所属等	氏名	所属等
野 村 輝 明	鹿児島県森林組合連合会代表理事専務	山 崎 洋 一	(公社)鹿児島県トラック協会専務理事
村 山 浩 美	鹿児島県治山林道協会専務理事	山 野 真 理	(有)カルチャー・コネクション相談役
小 林 孝 幸	鹿児島県木材協同組合連合会専務理事	田 中 隆 義	鹿児島県市長会事務局長
西 一 樹	鹿児島県漁業協同組合連合会常務理事	大 柳 俊 一	鹿児島県町村会事務局長
兒 島 優 一	鹿児島県建設業協会専務理事	松 枝 英 隆	鹿児島県環境林務部林務次長
寺 床 勝 也	鹿児島大学教育学部教授	黒 木 誠	鹿児島県教育委員会教育次長

【運営協議会名簿】

氏名	所属等	氏名	所属等
前 原 久 志	南九州市耕地林務課長	鬼 塚 浩 彰	鹿児島市緑化推進委員会委員
藤 垣 喜 広	湧水町産業振興課長	大川畑 のり恵	鹿児島県青少年団体連絡協議会顧問
村 上 國 男	鹿児島森林管理署次長	山 口 大 悟	鹿児島青年会議所理事長
地 福 俊 幸	緑の少年団鹿児島県連盟本部長	的 場 吉 郎	鹿児島県森づくり推進課長
塩 川 英 彬	鹿児島県森林ボランティア連絡会代表		



「緑の募金」を通じたSDGsへの貢献



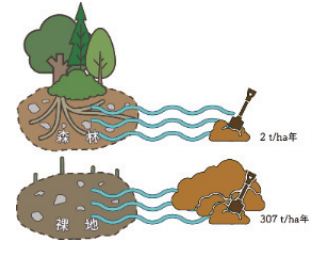
公益財団法人かごしまみどりの基金では「緑の募金」運動等を通じて、持続可能な開発目標17項目のうち、次の10項目の目標達成に向け、森林整備活動や緑化推進活動、森林ボランティアの育成および次世代を担う青少年への森林環境教育活動等に取り組み、SDGsの実現に貢献していきます。



森の恵み（特用林産物）からの収入



森林による自然災害の防止（洪水・地滑り）



森林が育むきれいな水や澄んだ空気
森林による癒やし効果（森林セラピー）



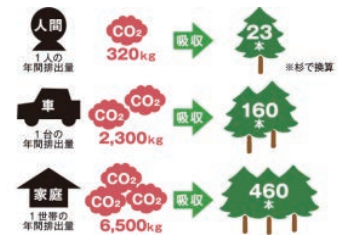
地域・学校の環境緑化活動
防災林の植樹等



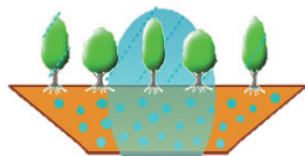
森林環境教育の
実践と普及



産業活動や家庭生活により排出されるCO₂の吸収。地球温暖化の防止



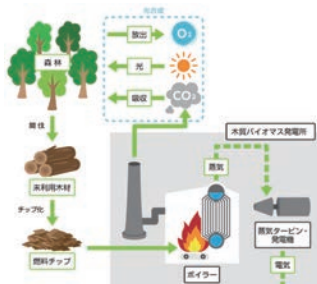
森林による水源の涵養
（洪水・渇水の緩和、水質の浄化）



魚付き保安林等の涵養
豊かな森づくり＝豊かな海づくり



木質バイオマスの
活用と普及



多様かつ貴重な生態系の保全





豊かな緑支える 緑の募金



- 豊かな森林をつくるために
- 地球温暖化防止のために
- 地域や学校のみどりづくりのために
- 緑の少年団や森林ボランティアの育成のために

緑の募金に御協力をお願いします！

公益財団法人かごしまみどりの基金に寄付された法人・個人には次のような税制上の優遇措置があります。

法人が寄附した場合	一般寄付金の損金算入限度額とは別枠で下記を限度に損金算入が可 (資本金等の額 × 0.375% + 所得金額 × 6.25%) × 1 / 2
個人が寄附した場合	所得控除又は税額控除のいずれかを選択できる (所得控除) 寄付金額 (総所得の40%上限) - 2千円を控除 (税額控除) [寄付金額 (総所得の40%上限) - 2千円] × 40%を控除

(公財) かごしまみどりの基金・市町村みどり推進協議会・鹿児島県

〒892-0816 鹿児島市山下町9-15(林業会館4F) TEL099-225-1426・1477 FAX099-225-1511 <http://www.k-green.jp> E-mail:bokin@k-green.jp